

住民の対話 ワークショップ 報告書

社会福祉法人 長岡京市社会福祉協議会

住民の対話ワークショップとは

地域福祉のまちづくりに関する市の計画(地域健康福祉計画)及び社協の計画(地域福祉活動計画)の策定にあたり、小学校区ごとに地域住民の皆様にお集まりいただき、地域福祉をめぐる課題について学び合い、ともに考える場を創りました。

コロナ禍以降、人と人との「つながり」がますます希薄化し、孤独や孤立の問題が深刻になっています。
近所づきあいや、地域活動への興味関心も低下し、自治会への加入人数も減っています。
住み慣れた地域で、その人らしく生活をするためには、住民同士のつながり、助け合いが必要となります。



第5次地域福祉活動計画策定に向けた 「住民の対話ワークショップ(校區別・対象別)」について

対 象:小学校区ごとに、長岡京市全体で実施(校區別)
地域を限定せず対象者を選定し実施(対象別)

参加者等:地域のコミュニティ協議会、自治会長、民生児童委員、やすらぎクラブ長岡京等の地縁団体の参加者
や市内の福祉施設の方に加え、参加される皆様に、お知り合いの方を誘って参加していただく

実施主体:長岡京市(地域福祉連携室)と長岡京市社会福祉協議会

中学校区(小学校区)	日程	参加人数
長岡中学校区 (神足・長法寺・第六)	令和7年4月19日(土)	53名
長岡第二中学校区 (第三・第七・第十)	令和7年3月22日(土)	54名
長岡第三中学校区 (第四、第八、第九)	令和7年5月10日(土)	56名
長岡第四小学校区 (第五)	令和7年2月15日(土)	22名

対象者	日程	参加人数
長岡第三小学校4年生	令和7年1月21日(火)	86名
地域福祉活動者(ふれまち、いきいきサロン、ボランティア)	令和7年1月29日(水)	36名
GGながおか(当事者団体)	令和7年3月5日(水)	4名
やすらぎクラブ長岡京役員	令和7年3月11日(火)	3名

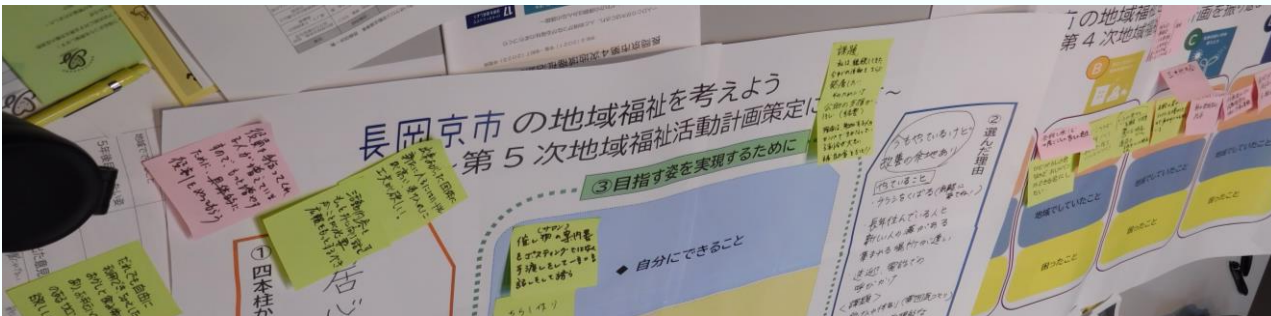
第5次地域福祉活動計画策定に向けた 「住民の対話ワークショップ(校區別・対象別)」について

● 参加者属性(校區別) ※対象別は参加団体で代表者を選出

中学校区	長岡校区			二中校区			三中校区			四中校区
小学校名	神足	長法寺	六小	三小	七小	十小	四小	八小	九小	五小
コミュニティ協議会		2	2	2	2	2	1	2	2	2
青推協	2									
自治会長	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2
民生児童委員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
やすらぎクラブ長岡京	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
小学校校長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
長岡京市民 (参加者友人・知人)	9	11	8	9	11	10	10	9	13	12
一般公募										
地域包括支援センター	1			1			1			1
	合計 53名			合計 54名			合計 56名			合計22名

01
実施概要

第5次地域福祉活動計画策定に向けた 「住民の対話ワークショップ(校區別・対象別)」の様子



住民の対話ワークショップ プログラムの内容

その1

本日のワークショップの進め方と「地域福祉活動計画」について

その2

各小学校区の概況と活動の紹介

その3

第4次地域福祉活動計画を振り返る〈過去と現在〉

その4

次の5年間に向けての話し合い

その1

01 実施概要

本日のワークショップの進め方と「地域福祉活動計画」について

● 地域福祉を推進するための2つの計画

長岡京市地域福祉活動計画

公的な機関や、制度だけでは解決できない課題に対し、住民一人ひとりが自分たちの問題として捉え、その課題解決を図るために、つながりづくり、支え合いの輪の構築など地域で取組むことを具体的にまとめた行動計画

協働

長岡京市地域健康福祉計画

高齢者、障がい者、児童、生活困窮などと言った福祉分野別、対象別に対するサービスだけでは、十分に対応できない課題について、市民、地域福祉団体、福祉施設関係者などが相互に連携し支援していく方向性

両計画が補強、補完し合うことで
長岡京市の地域福祉のさらなる推進を目指す

基本理念

01
実施概要

一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる福祉のまちづくり
～誰かの課題はみんなの課題～

● 4つの活動方針と9つの活動目標



活動人口・関係人口を増やそう

1. 「魅力あるまちづくりの主役はわたしたちたち」の意識を培おう
2. 世代や属性を越えてつながる機会をつくろう
3. 新たな活動者が活躍できる出番を増やそう



居ごこちのよい場所を増やそう

1. いろいろなテーマの居場所や活動を増やそう
2. 「お互いさま」で気にかけてあえる関係をつくろう



未来の担い手を育てよう

1. 子供たちや若い世代が参加したくなる、地域づくり・地域活動にしよう
2. 地域づくり、地域活動にこどもたちや若い世代の力を活かそう



パートナーシップで目標を達成しよう

1. 横断的なつながりを作ろう
2. ボランティアセンター・災害ボランティアセンターと共働しよう

活動の主語は「地域住民」、支援の主語は「社会福祉協議会」

その2

各小学校区の概況と活動の紹介

● 長岡京市の今の姿

長岡中学校区

- 1. 神足小学校
- 2. 長法寺小学校
- 3. 長岡第六小学校

長岡第三中学校区

- 1. 長岡第四小学校
- 2. 長岡第八小学校
- 3. 長岡第九小学校

長岡第二中学校区

- 1. 長岡第三小学校
- 2. 長岡第七小学校
- 3. 長岡第十小学校

長岡第四中学校区

- 1. 長岡第五小学校

● 長岡京市の概要(2024. 3. 31現在)

長岡京市の人口	82,236人
世帯数	38,135世帯
生活保護実人数	858人
生活保護実世帯	689世帯
療育手帳交付者数	739人
精神障害者保険福祉手帳交付者数	793人
身体障害者手帳交付者数	5,143人

● 長岡京市の年齢別人口分布

年少人口(15歳未満)	10,926人(13.3%)
生産人口(15~64歳)	49,543人(60.2%)
老年人口(65歳以上)	21,767人(26.5%)

その2

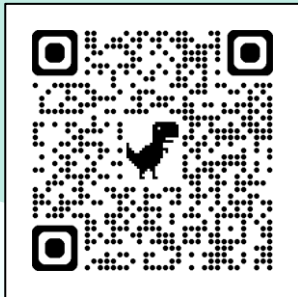
各小学校区の概況と活動の紹介

● 地域福祉活動MAPみ～つけ！長岡京

長岡京市内の活動や居場所づくりの取り組みなどの情報を、地図上で掲載しています。

「自宅近くで高齢者が集まる場はないかな？」
「子どもと一緒に参加できる活動を知りたい」
「得意なことを地域の中で活かしたい」、などを
探す際にご活用ください。

人と人、人と地域をつなぐ一助になれば幸いです。



長岡京市内の活動や居場所づくりの取り組みなどの情報を、地図上で掲載しています。

「自宅近くで高齢者が集まる場はないかな？」「子どもと一緒に参加できる活動を知りたい」

「得意なことを地域の中で活かしたい」、などを探す際にご活用ください。

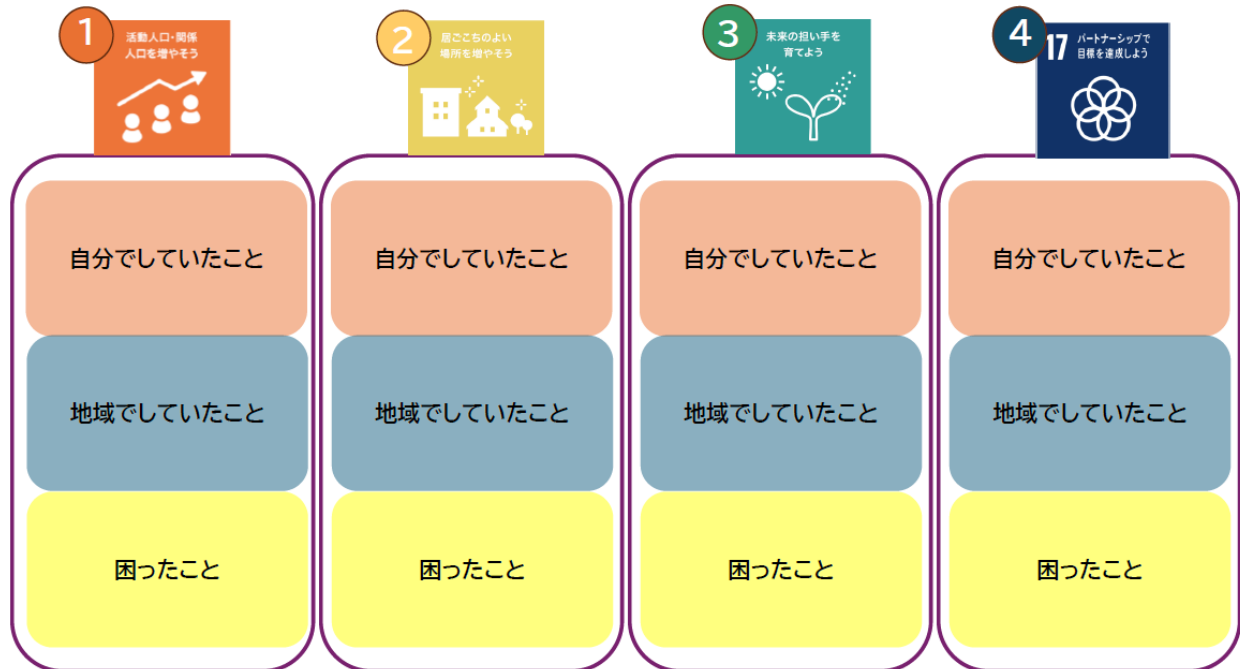
人と人、人と地域をつなぐ一助になれば幸いです。

小学校区から探す

神足小	六小
長法寺小	七小
三小	八小
四小	九小
五小	十小

検索したいエリアをクリックしてね

長岡京市の地域福祉を考えよう(●●小学校区 ①)
～第4次地域福祉活動計画を振り返る～



三色の付箋を配布し、各自で記入してもらい、模造紙の指定の場所に貼り付けてもらう。

模造紙に意見を出し合う①

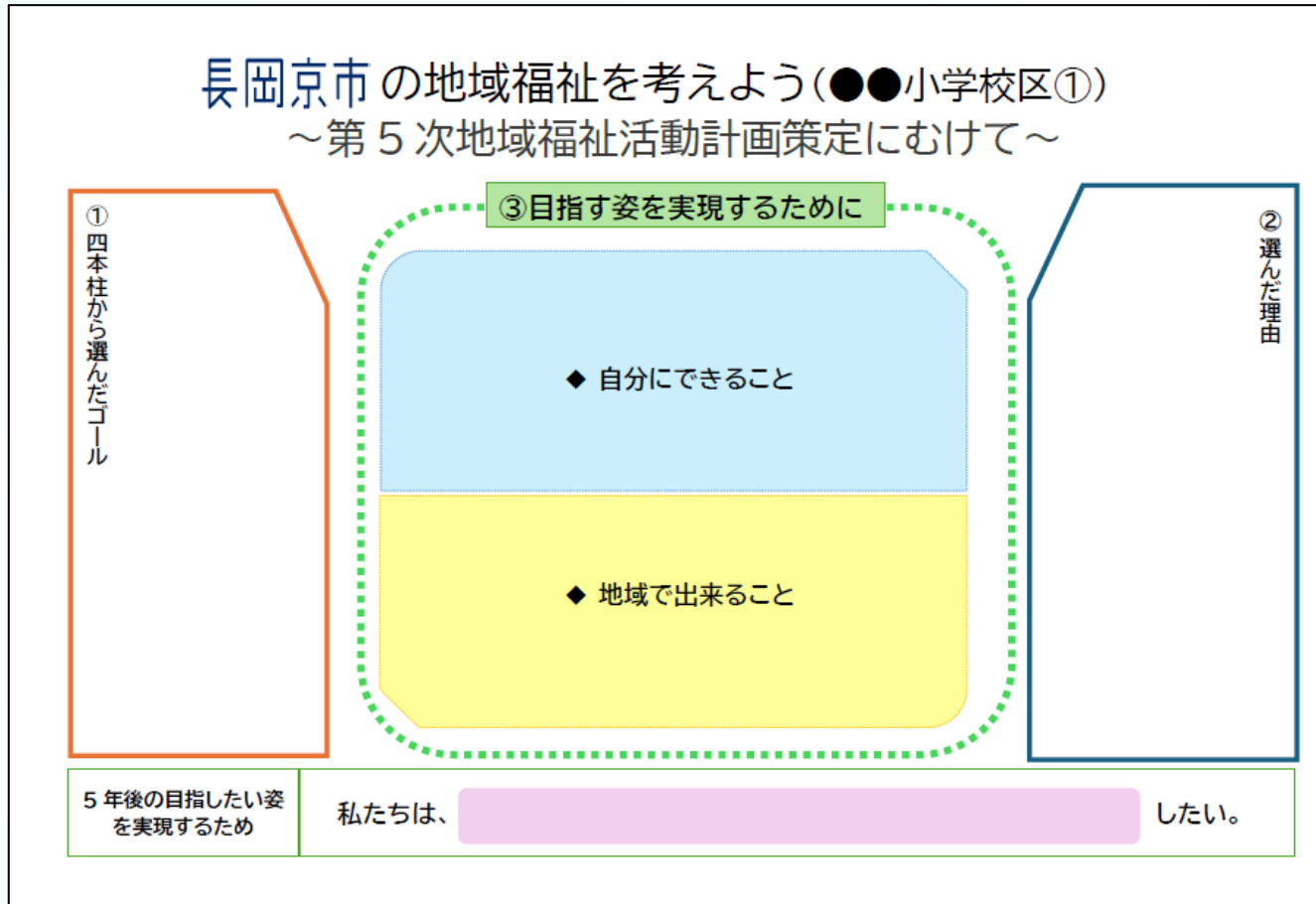
①第4次地域福祉活動計画の4つの活動方針ごとに、意見を出す。

- ・自分で行っていたこと(ピンク)
- ・地域で行っていたこと(青)
- ・困ったこと(黄色)
- ・その他(白)

②各自で出した意見を、グループ内で共有する。

★共有する中での課題を抽出していく

その4 次の5年に向けての話し合い



模造紙に意見を出し合う②

- ① その3で出た意見をもとに、第4次地域福祉活動計画の4つの活動方針からゴールを選ぶ
- ② 活動方針を選んだ理由を明確にする。
- ③ 活動方針を達成するために、自分で出来ること、地域で出来ることは何か意見を出し合う。

★5年後目指す姿を実現するために、どのようにしていくのか、目標をたてる

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

意見交換から出た「課題」

活動人口・関係人口を増やそう

- ・子供の数の減少
- ・自治会の会員の減少
- ・役員の高齢化
- ・役員の担い手不足
- ・世代間ギャップ
- ・コロナ禍以降の参加者の減少
- ・発信力の低下

居心地のよい場所を増やそう

- ・場所がない
- ・資金不足
- ・参加者が限定されている
- ・子供たちがのびのび遊べる場所がない
- ・移動手段がない(高齢者の移動が難しい)
- ・空き家の問題
- ・若い世代の参加が少ない

未来の担い手を育てよう

- ・子育て世代の自治会離れ
- ・少子高齢化
- ・次の世代へのバトンタッチが難しい
- ・60歳を過ぎても、現役で仕事を続けている
- ・子供たちだけで地域活動する場がない
- ・子供・親・高齢者の三世代が交流する場所がない

パートナーシップで

目標を達成しよう

- ・個人情報保護のため、住民の情報が入ってこない
- ・小学校と地域との関わりが少なくなった
- ・行政関係の役職が多すぎて、自治会活動に集中できない
- ・多世代・多志向の方々と関わる機会がない

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 神足小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
活動人口・関係人口を増やそう	どの目標を達成しようとしても、まず関係人口が増えるのが大前提、人さえいればやりたいことは実現していく。今は集まる人が限られ、偏りがある。つながりが必要	誰とでも挨拶が出来て、顔がわかる地域にしたい
居こちのよい場所を増やそう	居こちのよい場所が増やすことで、活動人口を増やすことにもつながる	自ら積極的に参加し、自ら参加しやすい地域づくりを行う
居こちのよい場所を増やそう 未来の担い手を育てよう	日常生活を大切にしたい(安心・安全) 子供も大人も高齢者も双方が見守り合える地域にしたい	老若男女問わず、見守り、支え合い、ゆるし合える「愛」であふれる地域にしたい

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 長法寺小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
居こちのよい場所を増やそう	いろいろな世代が参加できる。 地域の中で楽しく集まれる場所があるとよい	どこかに所属していない人にも、 参加してもらえるようなはたら きかけをしたい
居こちのよい場所を増やそう	場所がなければ、関係性がつukれない	居場所づくりをしたい
活動人口・関係人口を増やそう 居こちのよい場所を増やそう	自治会のない地域、交流が希薄な地域がある 現状を踏まえ、人と人との絆を深めたい	交流を大切にしていきたい

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第三小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
パートナーシップで目標を 達成しよう	防災(共助)が大事 お互い(近所)を知る必要がある	支え合う安心・安全なまちづくり をしたい。そのために第一歩はあ いさつから
活動人口・関係人口を増やそう	若い世代の共働きの増加、少子高齢化で活動 の参加者が減っているから	地域でコミュニケーションを大切 にしたい
居ごこちのよい場所を増やそう 未来の担い手を育てよう	近所同士の関係性が希薄になっていることか ら、助け合いが出来なくなっている。「向こう三 軒両隣」が再現できれば、もっといい場所にな るのではないかと。人と人が出会える場所があ れば、きっかけが生まれる。しかし居場所を維 持するためにも支える担い手が必要	天気のいい日には表にでよう！

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第四小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
活動人口・関係人口を増やそう	災害時に助け合うため 避難生活を快適にするため	顔の見える関係づくりをしたい
未来の担い手を育てよう	高齢者世帯と若い世帯の距離が開きすぎていると感じるから	地域のつながりが希薄な中、自治会活動を改革したい
居こちのよい場所を増やそう	隣人の顔が見える地域 多世代が交流し、福祉にかかわる人口を増やしたい	地域みんなが顔見知り！ 家族のように関われる地域にしたい

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第五小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
未来の担い手を育てよう	子供たちを巻き込むことで、子供の親世代、祖父母世代にもつながる	あいさつをして。声かけが出来る関係性をつくりたい
未来の担い手を育てよう	防災意識が低く、地域のつながりも希薄になっているのが現状。地域のこれからを考えていく、地域のつながりを作っていくうえで、先の人につなげていくことが大切	子供から高齢者までつながれる地域を目指したい
活動人口・関係人口を増やそう	活動人口・関係人口が増えることがすべてのことが達成できるため	私たちは地域をまたいだ交流をしたい

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第六小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
居こちのよい場所を増やそう	「活動人口・関係人口を増やそう」「未来の担い手を育てる」「パートナーシップで目標を達成する」これら3つを駆使し、「居こちの良い場所を増やす」を目指す	「つながり」というキーワードには共感が集まったものの、参加された方々の立場が多様だったことから、全員の想いを一つの言葉にまとめるには至らなかった。
居こちのよい場所を増やそう	場所があれば、人が集まる	あいさつをとおして、健康な地域作りを目指したい。
活動人口・関係人口を増やそう	町づくりは自分自身でやっていかないといけないという意識を持てると色々な事に繋がっていく。全部に繋がっていく。関連性が出来てくることから①を選んだ	私たちは、世代を超えてぬくもりのある校区を目指したい

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第七小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
未来の担い手を育てよう	何をするにも若い世代の担い手が必要	意見まとまらず
居こちのよい場所を増やそう (取り組みのハードルを低くして、 いろんな世代が参加できる場所 を増やす)	居心地の良い場所ができれば担い手も育つ！	自治会館等を核に人が繋がる場 所をつくり、非常時でも助け合え る地域社会・顔の見える関係にし たい。
活動人口・関係人口を増やそう 居こちのよい場所を増やそう	自治会に入る人が減ったり、役割(民生委員、 自治会)を担う人も少なくなっている。け れども、情報をえるためには繋がりが必要。押 し付けず、選択できる居場所(地域)をつくるた めに、動く人は必要。	『毎日、あいさつを通して、人の 繋がりづくりを』したい。

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第八小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
居ごこちのよい場所を増やそう 未来の担い手を育てよう	つながっていくから。土地に馴染みのない人や若い世代、子どもたちにとって居心地の良い場所を増やせば「自分のふるさと」として思いを持ってくれる。居心地がいいから自然と先へと繋がり、未来の担い手となってくれる。	多世代の繋がりづくりをしたい。
未来の担い手を育てよう	将来の地域の担い手になってもらうことは①活動人口、関係人口を増やそう②居心地のよい場所を増やそう、の取組みにもつながるから。	小地域から三世代がつながる場がある地域にしたい
活動人口・関係人口を増やしていこう	世代を超えた居場所づくりが必要	私たちは、世代を超えて参加したくなる活動を増やし、仲間とつながりたい

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第九小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
未来の担い手を育てよう	今まで続けていたことができなくなるので次の担い手を増やしたい。ほかの柱にも関係している。	発起の声を上げ続けること
活動人口・関係人口を増やそう	活動人口が増えれば未来の担い手。居場所も作れるから。	多世代交代をしたい。
居ここのよい場所を増やそう	居心地の良い場所が増えることで、活動人口や、未来の担い手、パートナーシップ目標を達成しようにもつながるから	私たちは、SNSを活用しながら、昔ながらの活動をおこなっていききたい。

次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 第十小学校区

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
4つすべてがゴール	多世代にわたって繋がることでこの活動を 活性化するため 多世代にわたって一緒に取り組む活動を作っ ていきたいから	多世代のつながりを地域ではぐ くみたい
パートナーシップで目標を達成し よう	それぞれで活動している人が交流して繋がり、 今は分散しているそれぞれが手を取り合うこ とで輪が広がる。そうやって活動人口を増やし ていけばよいと思う	私たちは、皆が顔見知りになる 地域にしたい
活動人口・関係人口を増やそう	活動してくれる人がいないと全部が達成でき ない。すべてが活動人口・関係人口を増やそう に繋がっていくため	私たちは、中・高・大学生が積極 的に活動に参加してくれる地域 になりたい。

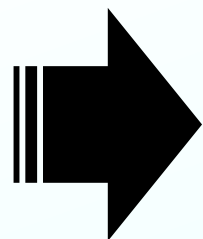
次の5年に向けての話し合いで出た意見の共有

● 地域福祉活動者

4つの活動方針から 選んだゴール	選んだ理由	5年後目指したい姿を 実現するために
居ごこちのい場所を増やそう	今もやっているが、改善の余地あり	おしゃべりや手渡しで共感者を増やしたい
未来の担い手を育てよう	活動人口や居心地のよい場所はすでにできている。更に充実させるために。	今あるご縁を大切にしつつ新しい仲間を増やす
未来の担い手を育てよう	後継者がいないことが共通の悩み	挨拶をして声掛けができる関係をつくりたい
活動人口・関係人口を増やそう 未来の担い手を育てよう	参加する人も、引っ張っていく人も増えて、活発な活動を続けていけるために必要なため	自分も活動に参加し、自分の活動に関わる人たちに広めていく。LINEなどで新しい入り口を作り、入ってきた多世代の人たちが交流できる場を作る
活動人口・関係人口を増やそう 未来の担い手を育てよう	居ごこちのよい場所をするには不可欠なため	抱え込まない活動にしたい

第5次地域福祉活動計画策定に向けた 「住民の対話ワークショップ(校区別・対象別)」について

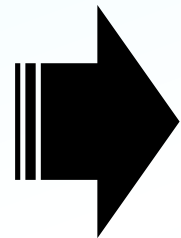
詳しい内容を確認したい方は、
社協ホームページをご覧ください。



第5次地域福祉活動計画
住民の対話ワークショップ報告書まとめ

二次元
バーコード

みなさまのご意見をもとに
長岡京市地域福祉活動計画を
策定しました



長岡京市第5次地域福祉活動計画
令和8(2026)年度～令和12(2030)年度

計画のアドレス

二次元
バーコード

